

令和7年度 日下地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

感染症拡大防止の取り組みから、地域における行事・催しやケアプラザにおける福祉保健活動も徐々に戻ってきている傾向にありますが、行事等の実施についてコロナ前と同じ様な活動は地域にとっても難しく各自負担が少なくなるように会議等縮小して活動されております。当ケアプラザの貸館の利用や自主事業に参加する方々の利用状況も、コロナ前の半数程度しか利用が回復していない状況となっています。開所もないころに立ち上がった福祉保健活動のメンバーが高齢化を迎え担い手不足などが生じ、コロナ禍をきっかけに活動が停滞もしくは停止してしまった状況もあります。そのような状況を踏まえあらためてケアプラザを地域の身近な福祉保健活動の拠点として利用していただけるように周知するとともに、ケアプラザの機能を最大限に発揮し誰もが地域で安心して暮らせるように、地域住民や区役所等関係機関と協働して地域の課題を明らかにしその解決に取り組んでいきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	昨年度のボランティアポイント講習会をきっかけに、新規登録の促進を継続しつつ、登録者が活動できる場の確保やモチベーション向上に取り組めます。また、これらの施策を通じて地域の活性化を促進し、持続可能な人材確保につなげるために、講習会や交流会の実施など、様々な取り組みを展開していきます。
<input type="checkbox"/>	■	年間を通してスマホ相談会を定期的に開催し、地域の高齢者のデジタル化を後押しするとともに、コミュニケーションツールとしての活用を促し、地域のつながりを増やしていきます。
■	<input type="checkbox"/>	地域・医療・福祉が連携し、地域住民が在宅で安心して生活が継続できるよう情報共有、情報発信に取り組めます。
<input type="checkbox"/>	■	高齢者一人ひとりが自分の健康増進・フレイル予防を主体的・継続的に取り組むための働きかけ・介護予防普及啓発を行います。
<input type="checkbox"/>	■	「介護者のつどい」を勉強会の場とし認知症理解、権利擁護などに関する情報提供を行うと共にチームオレンジの基盤構築に取り組めます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

ケアプラザ祭りを11月に実施し大勢の方々が来所されました。ケアプラザに関係する多くの方々の更なる活動の支援と地域に対してケアプラザを新たに知ってもらう機会をつくることができました。また、子供達やその親を含め参加したウオーラリーは、ケアプラザの中だけでなく地域のサロンや子育て支援で活動されている活動拠点をまわってもらうことで地域の支え合いの一端を知ってもらう良い機会を作れたのではないかと思います。本格実施スタートしたチームオレンジ事業の基盤づくりを意識し、神奈川オレンジ大使をお招きし、認知症当事者から直接お話を聴くことで、認知症理解と認知症になっても地域の中で自分らしく生活することができるという実際を知る機会の提供。今後もケアプラザが福祉保健の身近な拠点として気軽に利用してもらえるように取り組んでまいりたいと思います。

区からのコメント

今年度は「第5期港南ひまわりプラン(地区別計画)」の策定において、地域の行事等で意見募集を行うなど、多くの方々を巻き込みながら、地域の皆さんとご尽力いただき、ありがとうございました。
 認知症支援事業では、協力医との連携推進や継続的な「介護者のつどい」の実施、「オレンジ通信」を通じた認知症の取組や本人発信の支援等、認知症の普及啓発や関係機関の連携強化に大きく寄与しています。また、権利擁護においては、日々の地域に密着した事業や各種取組を通じて、地域住民のニーズを把握し、高齢者虐待への迅速かつ適切な対応や成年後見制度を活用した本人の権利擁護等、関係機関と連携を図りながら、高齢者の生活の安定を図っています。
 包括的・継続的ケアマネジメント業務においては、地域へのきめ細やかな支援を実施する為、関係機関との連携が欠かせません。ケアマネジャーとの信頼関係を積極的に構築し、支援スキル向上に向けた支援を継続的に実施しています。在宅医療・介護連携推進事業では、協力医と連携を図りながら、生活という視点を基点にした医療・介護の相談体制の充実に取り組み、適切なニーズ把握と課題解決に向けた支援を実施しています。また、地域が自立して介護予防に取り組めるよう、丁寧な活動支援を行うとともに、インフォーマルサービスの活用支援を行っています。地域ケア会議では、地域住民が自ら生活上の課題解決を図るため、発言しやすい場の設定や、地域住民のみならず、関係機関の多職種がつながりをもてるきっかけともなっています。
 引き続き、地域住民の健康づくりや生活の安定に向け、取組の推進をお願いします。